

人の美容人生を預かる者としての決意。
同じ立場の人と悩みを分かち合えたことが大きい。



「多様な人材活用コース」

支援導入のキッカケは？

私はスタッフの雇用について、その人の美容人生そのものを預かるという考えを持っています。これはお店のコンセプトにも通じることなのですが、やはり理想と現実には乖離があって、自分の想いをどのような形にすれば良いのか悩んでいました。そんなときに興味を持ったのが参加したきっかけです。また、いろいろなオーナーさんとも話ができて、そこでわかったことは、自分の悩みがほかのオーナーさんとも共通していたんですよ。これまで、売上をたくさん伸ばしたスタッフが給与をたくさんもらえるというシステムでしたが、今は目に見えない仕事や、数字に表れない仕事もきちんと評価し、お互い助け合っていく仕組みにするなど、同じ悩みを抱えるオーナー同士、美容業界ならではの課題をどうやって改善していけば良いか意見を出し合えたのが、良い刺激になり、それをきっかけに、自分の中で思い描いていた働き方の見直し、改善の方針が見えてきました。



経営の基盤づくり

良い人材が定着すれば、自ずと売上にも影響を及ぼします。逆にいうと、人材の定着なくして安定した経営は維持できませんので、働く環境の見直しにも成功したサロンは、将来的な経営の基盤固めにも成功したといえるでしょう。ぜひ皆様もトライしてみてください。

ルールを整備すれば 人材は定着する

以前の美容業界は、休憩や有休などの制度があつてないようなもので、仕事のほかに妊娠や出産、子育て、介護などがあると、両立するのがとても難しい業種でした。そのせいか、ライフスタイルが変化すると多くの方が離職してしまい、ブランクが空いてからの復職も難しくなります。一方、雇う方も離職が重なると人手が足りなくなってしまうですし、新しい人手を雇うにはコストと時間がかかります。今回のように、スタッフの声を積極的に取り入れつつ、曖昧だった就業規則をきちんと整備すれば、結婚や妊娠、出産などを経ても美容師としてのキャリアを継続しやすくなります。雇う方も人手不足の問題が解消され、双方ウィンウィンの理想的な関係を築くことができるので、とても良い試みだといえます。



すべてのスタッフが働きやすい職場。
そんな、理想的な環境を構築。

スタッフの離職を 機に決意したこと

離職防止へできること

ちようど産休・育休明けのスタッフが、当店にも出たことが、環境の整備を考える良いタイミングでした。そもそも美容業界はほかの業界に比べて、休憩や有休などの制度に疎いところがあるため、将来に不安を感じて離職される方が後を断ちません。そうした業界の古い慣例を払拭して、少しでも一般企業のように安定した基盤を構築していくことも

労使間のウィンウィン

美容師として働く方の多くは、一生美容師として現場で働くことを希望していますが、とくに女性は結婚・出産・子育て・介護などでこれまでどおりに働くことができず、離職の道を選ぶ方も少なくありません。そうして何年かのブランクが空

大切だと考えていました。働き方が安定すれば、将来に不安を感じて離職をする方も少なくなっていくはず。働く人にとって働きやすい環境になれば、離職率が減って雇用も維持できます。

いた後に復職するとなると、技術職ということもあり、かなりハードルが高くなっています。雇用側にとっても、結婚や子育て、介護を理由に離職されてしまうのは痛手ですので、働き方を見直し、改善するのは双方にとってウィンウィンとなります。長く経営するためには、いかに離職率の低い状態を維持するかが重要だと思います。

私、自身も
長く経営するために
業界の古い慣例を
払拭していきたいと
感じていました。

SALON FEATURES

INTERVIEW No.003
大岡山駅周辺の美容室 sisi hair design
[Salon owner] 下方洋樹さん

明確な就業規則改定から再出発

労働時間のルールと働き方を整備。働く側のスタッフより集めた実際の意見を参考に社内制度として、就業規則へ落とし込み。既存スタッフにはもちろん、入社してくるスタッフへも、明確な説明ができました。

多様性と柔軟な働き方へシフト

新しいスタッフの定着・育成を図るためにも、働き方の整備が必要との相談から、これまでにスタッフと意思疎通ができなかったことなど、現状の対策や思いをより細かくお聞きしました。もちろん、離職が重なるリスクは、どのサロンでもありますが、今後の対策も必要です。離職にともなう採用はお店の大きな損失となりますので、できるだけ長く定着してもらえよう社内制度へ改善。美容業界は休憩や休日を取りにくいという、業務時間外にも練習をしなければなりません。そういった制約を抱えたまま労働環境を改善する場合には、働き方が違う人々、たとえば、ママ美容師、ベテラン、シニアなど、様々な人材活用を含め考えなければなりません。

[CORPORATE PROFILE]
株式会社 sisi hair design
所在地/東京都大田区北千束1丁目54番地11号
設立/2013年 従業員数/4名